

ブラックロックのサステナブル投資への取り組みについて

ブラックロック・ジャパン株式会社

経営企画部門 副部門長 兼 商品開発部長 内藤 豊

2019年3月8日

BLACKROCK®

ブラックロックのご紹介

世界最大の運用会社 ブラックロックについて

ブラックロックは運用資産残高において世界第1位の独立系資産運用会社です。個人投資家、機関投資家、政府系ファンドなど世界中の投資家向けに債券、株式、アロケーション、不動産、オルタナティブ投資、ETFなど幅広い運用サービスを提供しています。

BLACKROCK®

- 1988年創業
- ニューヨーク証券取引所上場
- 社員数 13,500名超



ブラックロック本社が入居するビル。

運用資産残高

約**708兆円**

運用プロフェッショナル

2,000名超

卓越した

リスク管理能力

運用資産残高世界NO.1※

高いリスク管理能力と豊富な運用商品ラインアップによって運用資産残高世界一の資産運用会社です。

※2017年12月末時点。出所:Pensions & Investments "WORLD'S LARGEST MONEY MANAGERS" 2017年12月末時点。資産残高円換算レート:1米ドル=112.65円(2017年12月末時点)

	運用機関名	運用資産残高
1	ブラックロック	約708兆円
2	バンガードグループ	約557兆円
3	ステート・ストリート・グローバル	約313兆円
4	フィデリティ・インベストメンツ	約276兆円
5	アリアンツ・グループ	約266兆円

世界30カ国以上のグローバル拠点網

世界中の2,000名超の運用プロフェッショナルが常時情報を共有し、さまざまな資産や国・地域のスペシャリストの知見を相互に活かします。

独自のテクノロジーを活用したリスク管理

リスク管理において外部システム等を活用するのではなく、自社開発のテクノロジープラットフォームAladdin®でリスク管理を実施しています。

ブラックロックのサステナブル投資

サステナブル投資は、長期的なリスク調整後リターンの改善を促すため、伝統的な投資・銘柄選択手法にESG（環境・社会・ガバナンス）の視点を加味したもの。

- ・ サステナビリティ（ESG）関連の課題解決は投資リターンに影響を及ぼす（取締役会の構成、人材管理、気候変動問題等）。
- ・ サステナビリティ（ESG）関連の課題がどのように投資リスクやリターンに影響を与えるのか、その全体像を明確にした上で、具体的なソリューションを提案・開発。



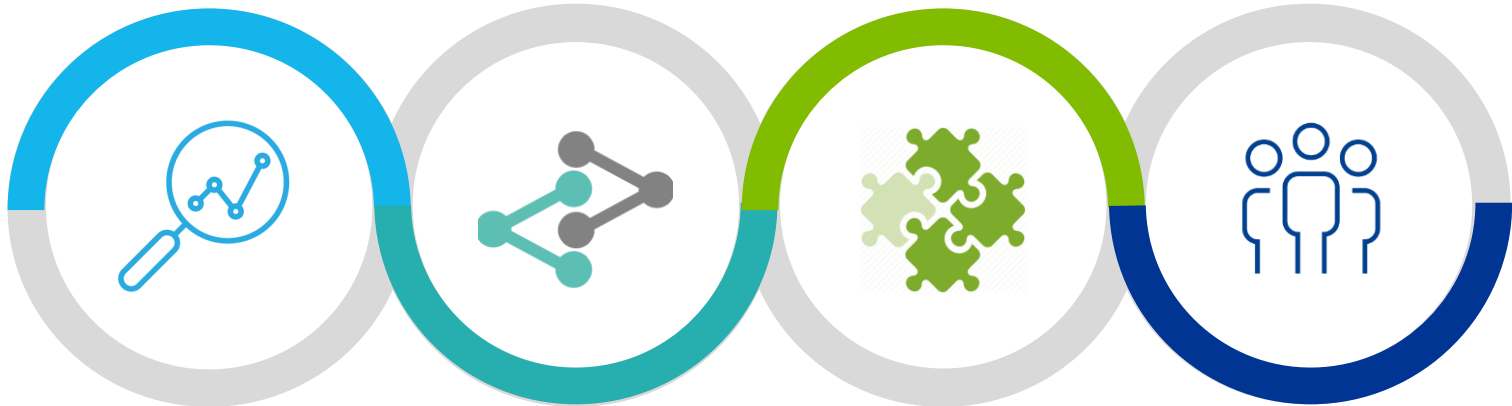
出所: BlackRock Sustainable Investing, September 2018. For illustrative purposes only. There is no guarantee that a positive investment outcome will be achieved.

サステナブル投資への全社的な強いコミットメント



ESG問題に対応する能力がある企業は、持続的な成長に不可欠なリーダーシップとガバナンスを備えているといえます。だからこそ、ブラックロックは投資プロセスにおいてESG問題を考慮することが非常に重要だと考えているのです。

– Larry Fink, 2018 Letter to
CEOs



投資アイデア

ESGの問題が投資リスクやリターンにどのような影響を与えるかを分析。

インテグレーション

様々な資産クラス・運用スタイルの投資プロセスにおいてESG問題や関連データを考慮。

ソリューション

投資目的・目標リターンの達成を後押しするソリューションを提供。

スチュワードシップ

企業の長期的なパフォーマンスと密接に関係するESG問題に関し、企業へのエンゲージメントを通じて積極的に対話を実施。

出所: BlackRock Sustainable Investing, September 2018. There is no guarantee that a positive investment outcome will be achieved.

情報提供、ポートフォリオ分析、ソリューションの提供

ブラックロックのアプローチ:

1

ESG投資の動向に関する情報提供

ESG問題に関係する市場トレンド、潜在的なリスク、投資機会について、ブラックロックの全社的な運用・リサーチ能力を活用して分析。



2

ESG目線からのポートフォリオ分析

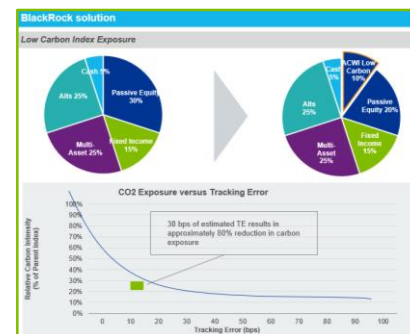
Aladdin Riskの能力とESGデータを活用してポートフォリオを分析、投資家固有の様々な投資目的に応じたESG投資のアプローチを提案（例：国連のSDGsを考慮したアプローチ等）。



3

ニーズに合致したソリューションの提供

ブラックロックは資産クラス横断的にサステナブル投資戦略を運用しているため、投資家の商品選定、ポートフォリオ構築、ESGスコアの最適化等をサポートする多種多様なソリューションの提供が可能。



出所: BlackRock Sustainable Investing, September 2018. Screenshots for illustrative purposes only. There is no guarantee that a positive investment outcome will be achieved.

BlackRock Sustainable Investing (BSI) team

各資産クラス専門の運用チームと協働し、ソリューションを開発。

BlackRock Sustainable Investing



Brian Deese

Global Head of BlackRock Sustainable Investing
Boston



Mirjam Staub-Bisang

Senior Advisor
Switzerland



Tariq Fancy

Global Chief
Investment
Officer
New York



Meaghan Muldoon

Head of
Sustainable
Investing EMEA
London



Andre Bertolotti, CFA

Head of
Research
New York



Amelia Tan

Director
London



Jessica Huang, CFA

Director
San Francisco



Allison Lessne

Director
New York



Verity Chegar

Director
San Francisco

Americas



Debarshi Basu

Vice President
San Francisco



Michael Kent

Vice President
New York



Hope Wilson

Associate
New York



Cameron McNeely

Analyst
New York



Manling Li

Analyst
San Francisco



Caitlin Meloski

Admin. Assistant
Boston

EMEA



Sam Tripuraneni

Vice President
London



Caroline Brady

Vice President
London



Kenza Akallal

Associate
Paris



Juliette Faure

Associate
London

Sustainability Insights

ESG Integration

Solutions & Innovation

Source: BlackRock Sustainable Investing. Team structure as of 02/13/2019

運用チームを横断したESGインテグレーション

ブラックロックでは、運用チームを横断したESGインテグレーションの一貫性を維持するために、全社的な意思決定プロセスを構築

ブラックロック・グローバル・エグゼクティブ委員会 (GEC)

ブラックロック GEC 投資小委員会

シニアメンバーによるESGインテグレーションの取り組みを促進し、全ての運用チームにガイダンスを提供

サステナブル投資 運用最高責任者 (CIO)

CIOは全ての運用チームを監督し、ブラックロック全体のベストプラクティスを集約して厳格な基準を策定

それぞれの運用部門に、ESGの運営責任者とプロフェッショナルが所属し、各運用チーム固有の方法論とプロセスを確立

ETF / インデックス	アクティブ株式	マルチ・ アセット	債券	オルタナティブ	キャッシュ マネジメント	ポートフォリオ ソリューション
Operational Lead	Operational Lead	Operational Lead	Operational Lead	Operational Lead	Operational Lead	Operational Lead
Content Expert	Content Expert	Content Expert	Content Expert	Content Expert	Content Expert	Content Expert

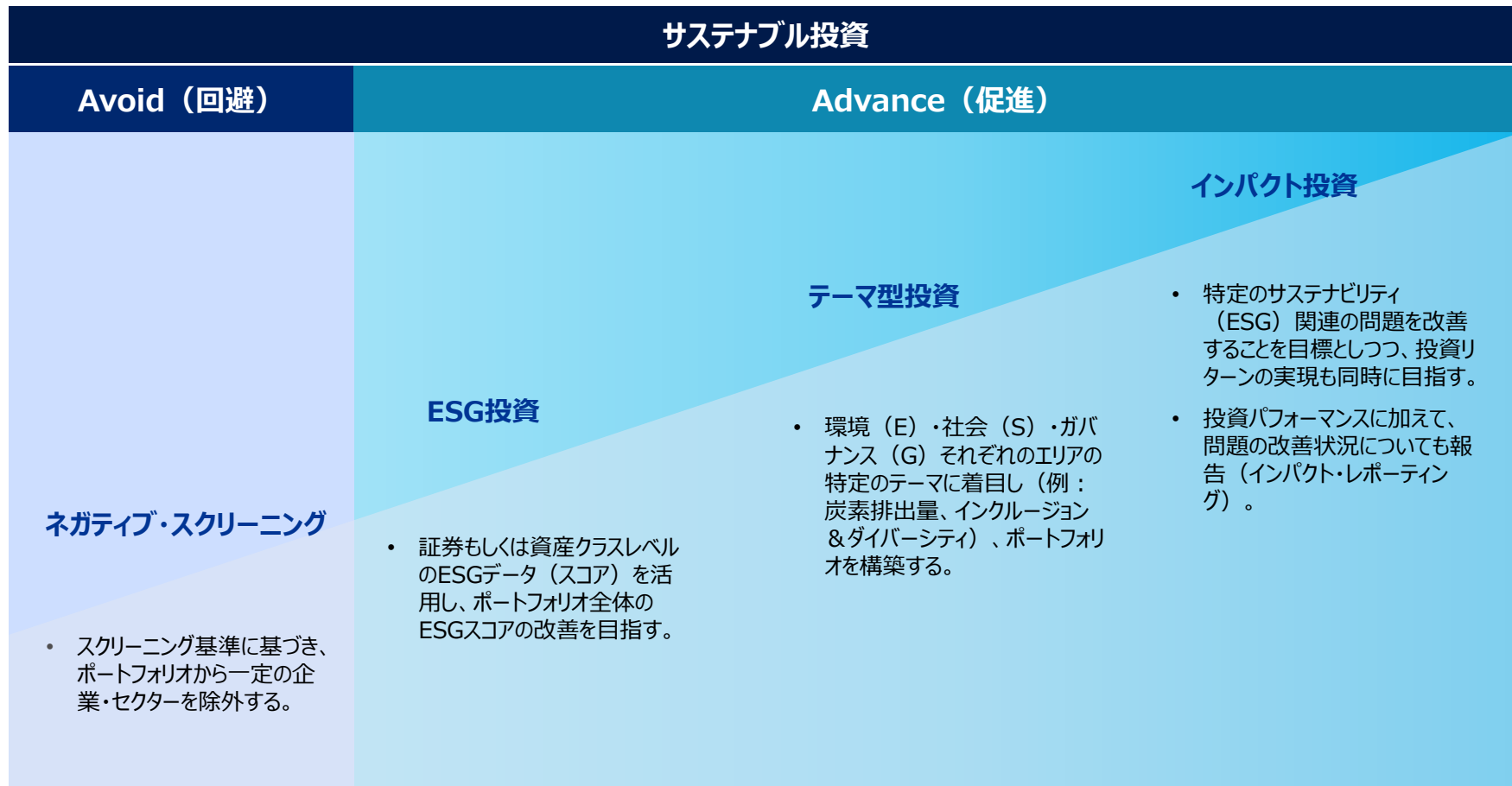
サステナブル投資の調査・研究

ESG とインパクトに関する調査研究を行い、全ての運用チームと共有

サステナブル投資を実現するための様々なアプローチ

サステナブル投資に取り組む典型的な2つの動機: Avoid（回避）と Advance（促進）

- Avoid（回避）：一定の企業・セクター等をポートフォリオから除外。
- Advance（促進）：投資資金をサステナビリティ（ESG）関連の企業活動の促進・成果に結び付ける。



出所: BlackRock Sustainable Investing, September 2018. For illustrative purposes only and should not be interpreted as investment advice or recommendation.

投資意義のあるサステナブル投資手法を開発

	AVOID（回避）	ADVANCE（促進）		
	ネガティブ・スクリーニング	ESG投資	テーマ型投資	インパクト投資
目的	一定の企業・セクターを除外	ポートフォリオ全体のESGスコアの改善を目指す	特定のESG関連テーマに着目	特定のサステナビリティ関連問題の改善と、投資リターン実現の同時達成を目指す。
要検討事項	スクリーニング基準の妥当性とパフォーマンスへの影響	ESGデータ及びスコアの妥当性	テーマの持続性・汎用性	インパクト・レポーティング
ソリューションの具体例	ネガティブ・スクリーニングの実例： - 気候変動問題：化石燃料関連企業を除外 - セクター：武器、タバコ等のセクターを除外 - 国・地域：スーダンを除外 - 宗教的制約：キリスト教、イスラム教の要請に対応	ブラックロックの2つのESG投資スタイル： - ESGオプティマイゼーション（最適化）：代表的な市場ベンチマークからの一定のトラッキング・エラーの水準の下で、ポートフォリオ全体のESGスコアの改善を目指す。 - ESGベスト・イン・クラス¹：ESGスコアが最も高いグループに属する企業を選択してポートフォリオを構築。	テーマ型投資の実例： 環境（E）に着目した戦略： - 低炭素 - 代替エネルギー - 電気自動車² 社会（S）に着目した戦略： - ダイバーシティ&インクルージョン² - 人材管理²	インパクト投資の実例： - グリーン・ボンド戦略 - グローバル・代替エネルギー戦略 - 株式型インパクト投資戦略

出所: BlackRock Sustainable Investing.

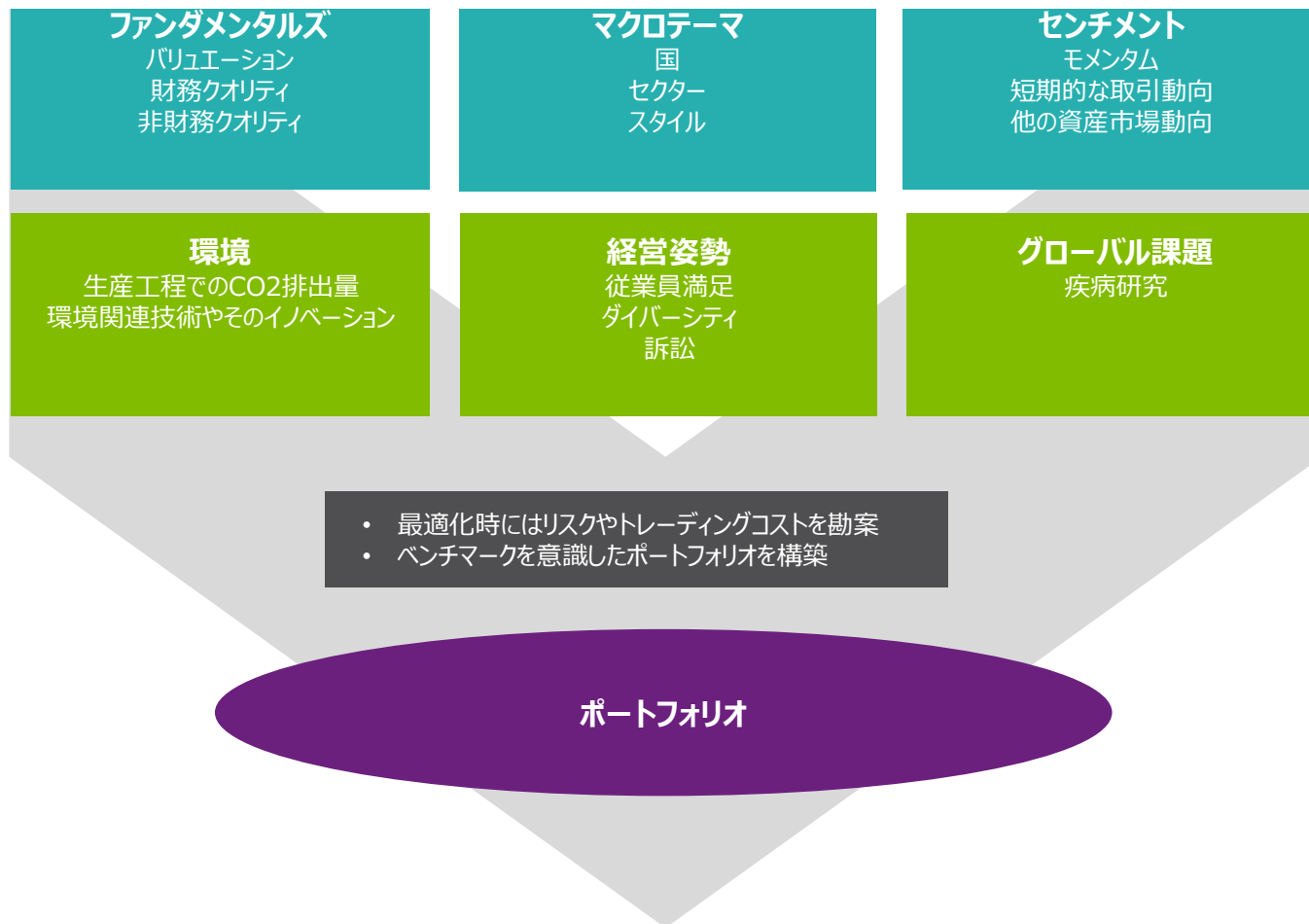
¹The 2014 Global Sustainable Investment Review. Best-in-Class is investment in sectors, companies or projects selected for positive ESG performance relative to industry peers

²開発中。

参考事例

インパクト世界株式戦略の概要

当戦略では個別銘柄を様々な観点から評価して将来リターンやESG/インパクトの効果（outcome）を予測しポートフォリオを構築します。



出所: ブラックロック。上記はイメージ図であり、将来の成果等を示唆、保証するものではありません。

ESG/インパクトの測定 — 健康に関する事例

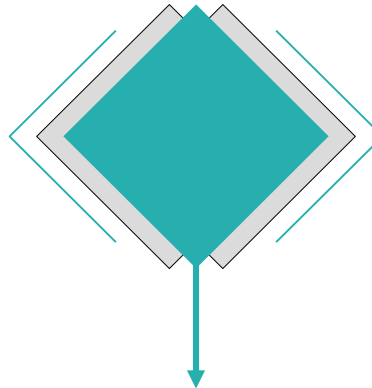
疾病研究

調査研究のポイント: 世界的に負担が大きい疫病の治療に関与する企業を特定

情報・データ元: 世界保健機関, 米国国立衛生研究所, Institute for Health Metrics and Evaluation (ビルゲイツ財団)

ケーススタディ: 疾病研究

世界的に負担を強いられる疫病を特定する為、世界保健機関, 米国国立衛生研究所, Institute for Health Metrics and Evaluation の情報から、**250の疾病**を分析



130以上の保険機関の情報を有する ClinicalTrials.gov 及び the Clinical Trials Transformation Initiativeから情報を入手、**34000**以上の臨床試験データから、テキスト分析を用いて分析

結果:

疾病の分析と臨床試験データの分析から、極めて大きなインパクトのある治療を研究中の企業を特定

ESG/インパクトの測定 — 環境の例

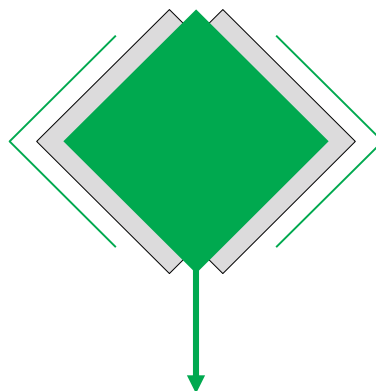
グリーン・イノベーション

リサーチアイデア: エネルギーや気候に関するイノベーションに取り組んでいる企業を特定する

データソース: 世界知的所有権機関、IFI Claims Patent Services、ブルームバーグ、国連気候変動枠組み条約

ケーススタディー: 気候変動、技術とイノベーション

世界知的所有権機関により分類された特許関連データの100項目について分析し、国連気候変動枠組み条約に基づく環境関連技術の開発状況を評価



世界の90以上の特許事務所をカバーしているIFI Claims Patent Servicesのデータから9000万件に上る特許関連データをテキスト分析技術を活用して分析

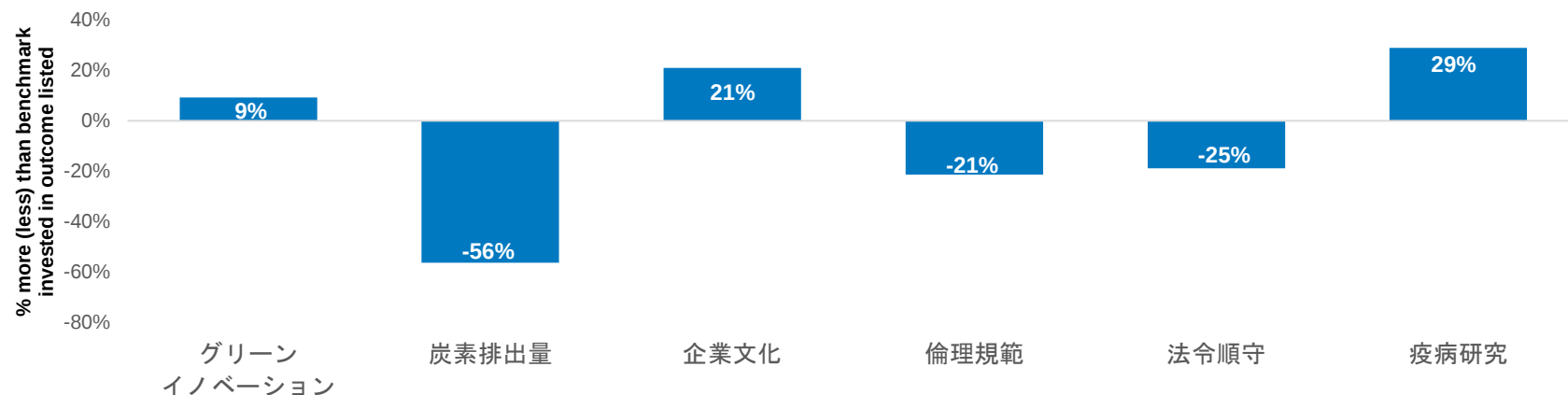
結果:

エネルギー、環境保護、輸送手段、農業、廃棄物管理に関する特許情報を分析することで、気候変動に対応できる企業を特定

出所: ブラックロック。将来の成果等を示唆、保証するものではありません。

ESGの成果を重視したポートフォリオ（インパクト・レポーティング）

インパクト世界株式戦略の海外代表ファンド事例 対 MSCIワールド



環境	社会			グローバル課題
温室効果ガス排出 & グリーンイノベーション	企業文化	倫理規範	法令順守	疾病研究
 温室効果ガス排出：企業の統制や蒸気・電力の創出により、二酸化炭素排出量が少ない企業 グリーンイノベーション：気候変動に対し、革新的な研究に基づき活動を行っている企業	 従業員満足度の高い企業	 より倫理的に問題の少ない企業 ダイバーシティ・労働者権利・健康的で安全な環境への理解が高い企業	 より少ない訴訟や労働問題の可能性	 グローバルに潜在的に高い影響力を持つような、早期の死亡や後遺症を孕む疾病の治療を研究している企業

出所:ブラックロック. 2018年6月30日時点

iShares MSCI Global Impact ETF がベンチマークとして利用している MSCI ACWI Sustainable Impact Index

MSCI's sustainable impact taxonomy turns the UN's 17 Sustainable Development Goals (SDGs) into 5 actionable impact themes applicable to investors.



BASIC NEEDS			
Nutrition	Major Diseases Treatment	Sanitation	Affordable Real Estate
EMPOWERMENT			
SME Finance		Education	
CLIMATE CHANGE			
Alternative Energy	Energy Efficiency	Green Building	
NATURAL CAPITAL			
Sustainable Water		Pollution Prevention	
GOVERNANCE			
Bribery & Ethics	Governance Structure	Civil Liberties	

Source: MSCI ESG Research

重要事項

ブラックロック・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号

加入協会： 一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

本資料は、ブラックロック・ジャパン株式会社が、第二種金融商品取引業協会が主催する「SDGs推進ワーキング・グループ」第3回検討会合において、情報提供のみのを目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。本資料は、当社が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に掲載された当社及びブラックロック・グループの意見、見解は、本資料作成日時点におけるものであり、今後、予告なく変更されることがあります。本資料に掲載された過去の実績及び今後の予測は、なんら将来の成果を保証または示唆するものではありません。本資料の使用権は、当社またはブラックロック・グループに帰属し、全部または一部分であってもこれを複製・転用することは社内用、社外用を問わず許諾されていません。

なお、本資料には、ブラックロック・グループの運用戦略の特徴をご説明するため、弊社およびブラックロック・グループ関連会社により実際に運用されているファンド等に係る情報・データを、ご参考として掲載している場合がありますが、弊社はそのファンドの投資勧誘を行うものではありません。本資料への当該情報・データの参考資料としての掲載は、弊社及びブラックロック・グループの運用戦略の特徴をより深くご理解いただくことのみを目的としています。

弊社の投資運用業者としてご提供可能な運用戦略等の提供を受けられる場合は、原則として、（１）弊社との投資一任契約の締結、または、（２）弊社が設定・運用を行う投資信託の購入により行われることとなります。ただし、必ずしも、全ての戦略について、投資一任契約および投資信託により提供を行っているわけではありませんので、ご承知おきください。

弊社が投資一任契約または投資信託によりご提供する戦略は、全て、投資元本が保証されておりません。

弊社がご提供する戦略毎のリスク、コストについては、投資対象とする金融商品等がそれぞれの戦略によって異なりますので、一律に表示することができません。従いまして実際に弊社戦略の提供を受けられる場合には、それぞれの提供形態に沿ってお客様に交付されます契約締結前交付書面、目論見書、投資信託約款及び商品説明書等をよくお読みいただき、その内容をご確認下さい。